

令和6年度  
豊島区立図書館  
事業計画

(重点取組)

# ① 図書館DXの推進

○目的：デジタル技術を活用し、図書館運営の効率化、利用者サービスの向上を図る。

## ○具体的取組

- ①スマートフォンによる図書館カード利用機能の導入（令和7年1月）
- ②電子図書館サービスの導入（令和8年4月導入に向けたシステム改修）
- ③オンラインによる利用者登録、更新機能の導入（令和7年4月導入に向けたシステム改修）
- ④セルフ予約受取コーナー、セルフ返却機の導入（令和8年4月導入に向けたシステム改修）



海老名市立有馬図書館 予約資料セルフ受取コーナー

## ② 図書館の改修・改築

○**目的** 築後30年超を経過し、老朽化が著しい施設についての改築・改修を行う。単に外装、内装をリニューアルするだけでなく、会話自由のエリア、静かに読書や調べ物を行うエリア、自習室、カフェコーナーなど、多くの人がそれぞれのスタイルで利用できる図書館への変革を図る。静寂エリアと合わせ、地域特性を活かした改修、改築を行う。それにより、静寂なエリアと交流ができるエリアの住み分けを進める。

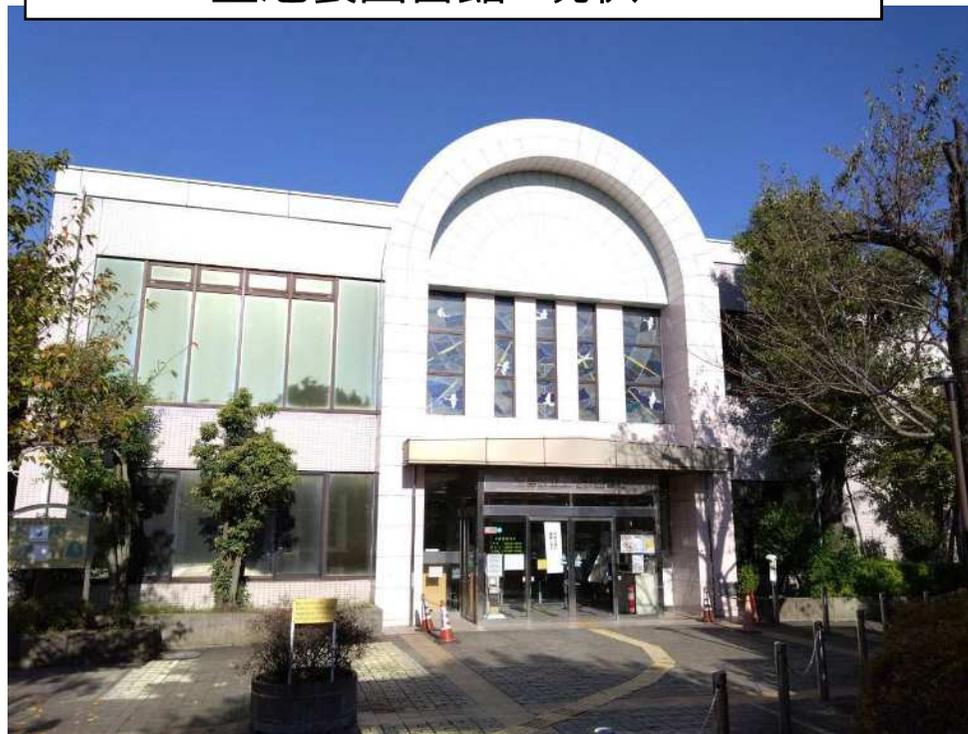
### ○上池袋図書館〈平成5年開設〉の大規模改修（令和7年2月～令和8年3月）

利用者や近隣住民等の意向も反映しつつ、新たな図書館に向けた設計を完了する。隣接する上池袋さくら公園とのつながりを踏まえた開放感ある図書館づくり、JR車庫であった経緯からテーマとしている鉄道に関する取り組みを充実する。

### ○千早図書館〈昭和46年開設〉の改築（令和8年2月～令和10年3月）

6年度中に設計事業者を公募プロポーザルで選定し、設計をすすめる。近接の千早地域文化創造館と連携し、生涯学習の拠点として整備する。

上池袋図書館 現状



上池袋図書館 改修後イメージ



## ③ボランティアの養成

○**目的** 子どもから大人まで、障害の有無、国籍・母語を問わずあらゆる人が読書を楽しむ環境を整備するうえで、ボランティアの協力は欠かすことができない。次世代を担う子供たちの読書活動や点字図書館（ひかり文庫）の運営を持続可能なものとするため、ボランティアの育成を行う。

### ①読み聞かせボランティア

子どもたちの読書活動の推進を図るため、地域区民ひろばなどの区内施設で絵本の読み聞かせを行うボランティアの養成を行う。講習会、ワークショップを経て、読み聞かせボランティアとして活動する。今年度は24名を養成予定。

### ②点字図書館（ひかり文庫）ボランティア

ひかり文庫では、「ひかり文庫点訳研究会」「ひかり文庫朗読会」「ひかり文庫拡大写本グループ」の3団体が活動してる。

年度ごとにボランティアの養成会を実施しているが、今年度は点字図書館の作成等を行う「ひかり文庫点訳研究会」のボランティア養成講習を行う。

読み聞かせボランティア養成講座の様子



点訳ボランティア養成講習会選考会の様子



## ④子ども・若者の参加の場づくり

○目的 子どもが情報交換を行う場や本をもとに「意見を表明」「学びあう」場、子どもが主体となって参加する場づくりを進め、子どもが読書に喜びを感じ、自ら目的を持って本を手にし、考えを深め、仲間と共有する取り組みを促す。

### ○子ども司書の養成

・子どもが仲間に読書の楽しさを伝える、読書リーダーとしての活躍を期待して、小学生高学年を対象に、講義やカウンター、資料補修など司書業務を体験してもらう。8月中に2館で実施する。類似の取り組みとして、一日図書館員も行う館もある。

### ○ビブリオトーク

・図書館利用者のうち、もっとも利用の少ない高校生、大学生層の利用を促進する観点から、区内NPOと連携し、若者自身が中心となって、募集から運営を行うビブリオトークを実施する。(7月中上池袋図書館で予定)

### ○調べる学習コンクールinとしま

・豊島区の在住、在学の小中学生を対象とし、疑問に思ったこと、興味を持ったことを図書館などを利用して調べ、そこから導き出されたことをまとめる調べる学習コンクールについて、各館で調べる学習応援プログラムやレファレンス等の支援をしている。上位受賞作品は図書館内で展示するとともに、図書館報である「図書館通信」の「生涯の一冊」コーナーへ寄稿してもらう。

調べる学習コンクール表彰式の様子（昨年分）



図書館通信に掲載された寄稿文（昨年分）



## ⑤ 職員の意識改革

○**目的** 「にぎやかな公共図書館」の実現に向けて、区立図書館には、地域社会の知の基盤のネットワークハブという役割、社会情勢の変化に寄り添う役割、地域振興に貢献する「知の地域づくり」の場という役割が求められている。これらの役割を果たすにあたり、図書館職員の資質向上は必要不可欠である。研修への参加や、先進事例の視察等を積極的に行い、知識を常にアップデートする。

### ○職員研修の充実

新たな図書館の変革に向けた職員の意識改革及び専門性の向上を図るため、派遣研修、集合研修、新規・転入者研修、OJTやeラーニング等さまざまな手法による研修を拡充する。

- ・にぎやかな公共図書館研修 第2回～居場所・コミュニティ形成の場としての図書館～（令和6年7月26日）
- ・都立図書館派遣研修、専門研修、普通救命救急講習、接遇、おもてなし、個人情報保護等e-ラーニングも交え実施

### ○先進事例の視察、調査研究

新たな図書館像の実現に向け、さまざまな先進事例の視察、ヒアリングを行い、意識を高めるとともに、調査研究能力、政策形成の能力を培う。

### ○窓口体験研修

事務職などデスクワーク中心の職員にも利用者感覚を培うため、カウンター業務等の実地研修を行う。

### ○サービスの総点検

様々なデータや利用者からの意見、他自治体の実施状況等を分析するなど、6～7年度を総点検期間と位置づけ、前例踏襲に捉われない新たな図書館にふさわしいサービスを実現する。



5年度先進自治体視察の様子

## ⑥行政課題の解決支援

○目的 区立図書館の「場」を利用し、様々な行政課題の解決に寄与する取り組みを推進する。下記のほか、展示や行政レファレンス等もあわせて行う。行政課題解決につながる講座開催を検討するとともに、関係各所からの打診にも積極的に対応する。

### ①子どもレター

子どもの声を積極的に聞き、子どもからの意見を今まで以上に区政に反映させることを目的に、子ども専用の様式（子どもレター）に意見を書いてもらい、区の職員に提出してもらう取り組み。区立図書館全館に子どもレター及び回収箱を設置し、対応。

### ②すずらんスマイルプロジェクト

生きづらさを抱えた若年女性を確かな支援につなげることを目的に、令和3年1月29日に豊島区が立ち上げたプロジェクト。区立図書館では、生理用品の無償配布を行う。

### ③としま涼みどころ、クーリングシェルター

熱中症にもつながる猛暑をしのぐ場所として、誰でも気軽に立ち寄って冷房の効いた空間で休憩できる施設として開放。

### ④マイボトル給水機の設置

環境破壊につながるペットボトルの使用を抑制するため、年度内に中央図書館にも設置し、全館設置となる。

### ⑤募金箱の設置

大規模地震からの復興支援や福祉活動などを目的に募金箱を設置。



マイボトル給水機設置の様子

## 令和 6 年度図書館経営協議会(第 2 回、第 3 回)の開催日程について (お伺い)

本日は、ご多忙の折りご出席いただきましてありがとうございます。

次回、次々回の日程について、委員の皆様のご予定をお伺いできればと存じます。

下記の日程候補のうち、ご出席が難しい日に×をお付けいただき、8月9日(金)までに事務局あてご提出のほどお願い申し上げます。

<開催時刻は 18 時～20 時を予定しております>

宛先 [A0027900@city.toshima.lg.jp](mailto:A0027900@city.toshima.lg.jp) 担当：豊島区立中央図書館 平野、小笠原

TEL : 03-3983-7861 FAX : 03-3983-9904

## 第 2 回

日程	ご出席が難しい日に×をお願いします
令和 6 年 1 0 月 2 9 日 (火)	
令和 6 年 1 1 月 6 日 (水)	
令和 6 年 1 1 月 7 日 (木)	
令和 6 年 1 1 月 1 2 日 (火)	

## 第 3 回

日程	出席が難しい日に×をお願いします。
令和 7 年 2 月 4 日 (火)	
令和 7 年 2 月 5 日 (水)	
令和 7 年 2 月 7 日 (金)	
令和 7 年 2 月 1 2 日 (水)	